



ぶくちゃんフレンズのみなさん

新春を迎えて

あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、旧年中は本会の活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は大府市が市制55周年を迎えた節目の年でした。長年にわたり、市民の皆様が築いてこられた地域のつながりや地域への思いが、このまちを支える大きな力になっていることを改めて実感した一年でもありました。また、この特別な年は、本会が地域福祉の歩みを振り返り、これからの時代に向けた取組を考える大切な機会ともなりました。

近年、高齢化の進展や生活課題の多様化などにより、地域を取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況において、本会では、第2次地域福祉計画の基本理念である「みんな笑顔で ともに支え合うまち おおぶ」の実現に向け、地域住民の皆様やボランティア、関係団体の皆様などと協力し、身近な暮らしを支える仕組みづくりに取り組んでいます。また、高齢者や障がいのある方の相談窓口についても、行政や関係機関との連携をより一層強めながら、丁寧な相談体制の構築に取り組んでいます。

これまでの歩みを振り返り、現代におけるニーズや課題を的確に捉えながら、本年も引き続き、わがまち大府に必要とされる「福祉のまちづくり」に力を注いでまいりますので、皆様には変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで温かい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



社会福祉法人
大府市社会福祉協議会
会長 加古 守



あんちゃん
(神田町)

令和8年1月

vol. 265



おおぶ社協だより

おおぶの ふくし

誰もが安心して暮らすことができるまちをめざして

おおぶ福祉特集

～認知症になっても自分らしく生きる～
認知症に対する不安のないまちづくりのために

ご案内

- “見えないってどんなこと？”
～見えない人への声かけ・サポート講座～
- 共和西こども幸齢者交流センター
ファミリークラブ「きらきらぼし」
- みんなの成年後見教室
- 災害ボランティアセンターを体験してみませんか？
- ボランティアだより
- 車いす・福祉車両の貸出をしています！
- 大府市高齢者相談支援センター主催セミナー
「幸齢者が笑ってすごせるまちおおぶ」

他

編集発行 社会福祉法人 大府市社会福祉協議会

大府市東新町一丁目219番地

☎ 0562-48-1805 ☎ 0562-46-9560

✉ obu-fuku@ma.medias.ne.jp

おおぶ社協 🔍

ウェブサイト



フォローしてね★



@obu_shakyo

#おおぶ社協

Instagram



この広報紙は、市民の皆様にご協力をいただいた赤い羽根共同募金を財源として発行しています。

自分らしく生きる～

ないまちづくりのために

認知症とは、さまざまな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなってしまったりしたために、正常に発達した知的能力(記憶する、時・場所・人などを認識する、計算する)が低下して、日常生活を送ることが困難になる状態を指します。

これに対し、国は、「認知症の人を含めた国民一人ひとりが尊重され、支えあえる共生社会の実現」を目的として、令和6年1月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法(通称:認知症基本法)」を施行しました。また、同年に、認知症基本法に基づく基本計画の中で、「新しい認知症観」というこれまでの認知症に対する捉え方とは異なる前向きな考え方も示しています。

今回は、皆さんにお伝えしたい認知症の知識や大府市で行っている「認知症に対する不安のないまちづくり」の取組を紹介します。



新しい認知症観とは？

「認知症になってからも、一人ひとりが個人として、できること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などつながり、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」という考え方です。

認知症は誰もがなりうる可能性があり、自分事として捉え、正しく理解していく必要があります。

古い認知症観

- 何もわからなくなる。できなくなる。悪くなる一方。
- 別人のようにおかしくなる。恥ずかしい。
- 社会や地域で暮らすのは無理。(外に出ない。出さない。)
- 周囲が介護してあげなくては。この先、負担が増えて大変。
- 早く医療や介護サービスに。本人抜きで周囲が決める。

新しい認知症観

- ◎わかること、できること、やりたいことがある。成長し続ける。
- ◎自分であることに変わりない。自分らしくのびのび、堂々と。
- ◎社会や地域でつながり、楽しく活躍、共に暮らし続けられる。
- ◎社会の力で、お互い楽に自分らしく
- ◎医療や介護は手段、地域での生活継続が肝心。決めるのは本人。

認知症介護研究・研修東京センター 永田久美子氏資料参考

～認知症の方と接するときの3つの心構え～

POINT 1

失敗やできないことを指摘されるなど、本人がされたら嫌なことを知っておく。

POINT 2

得意なことやできること、少し頑張ればできることを見守り、頼りにして力を発揮できる環境づくりをする。

POINT 3

重要なことほど本人の考え、希望について話し合う。



認知症サポーターになりませんか？

「認知症サポーター養成講座」は、毎年9月に市役所で開催する「認知症の日」イベントや、社会福祉協議会で定期的に開催しています。

5人以上集まれば出張講座も可能です。職場やサークル、友人同士の集まりで「認知症サポーター養成講座」を受講してみませんか？ご興味のある方は、お気軽に大府市高齢者相談支援センターまでご相談ください！



しもむら歯科医院スタッフの皆さん

～認知症になっても 認知症に対する不安の

大府市では、認知症の方の想いに寄り添う支援に取り組んでいます！

「私らしく、地域や仲間とつながりたい」認知症の方の声を聴きました。

おしゃべりが
楽しい

ひとりじゃ
ないから
さみしくない

ソフトボールや
ウォーキングを
やりたい

認知症の方が
暮らしやすい
地域になるように

楽しく
暮らしたい

みんなに会える
みんなを思い出す

大府市では「趣味やスポーツをして仲間とつながりたい」「みんなと楽しくおしゃべりしたり、笑顔で過ごしたい」など、本人の想いに寄り添い支援をしています。「苦手なことは増えたけど、まだまだ元気！」「私らしく人と関わりたい、地域とつながりたい」など、元気に活動しているみなさんをご紹介します。

市役所のローマナート



チラシの配布



配布物の仕分け作業

いきいき高齢者フエスタ



資料の準備



記念品の袋詰め作業

★・★ **自分にできることを、元気に楽しく活動しています！** ★・★

「コスモスクラブ」では、認知症の方やその家族が集い交流しています。クラブでは、参加者が活動したいことを話し合って内容を決めます。「歌いたい」「体操がしたい」「卓球がしたい」など、自由に楽しく活動しています。家族からは「普段見たことがない表情や笑顔を見ることができてうれしい」と感想をいただいています。



ボッチャ



合唱



ウクレレと歌



「おおぶオレンジサポーター」と「チームオレンジ」

「おおぶオレンジサポーター」は、認知症に関する知識を持ち、その知識を活かして、認知症の方の生活を支援したい方であり、個人で活動しています。「チームオレンジ」は、認知症の本人や認知症サポーターなどがチームを組み、認知症の方や家族などの生活や活動を支援しています。どちらの活動も、支援者や地域などと連携して、住み慣れた地域で安心して過ごすことができるまちづくりに資する活動に取り組んでいます。みんなと一緒に楽しく活動しませんか？

認知症支援の取組に関するお問い合わせ先

大府市高齢障がい支援課

📍 大府市中央町五丁目70番地

☎ 0562-45-6289

大府市高齢者相談支援センター

【JR東海道線より東側にお住まいの方】

📍 大府市東新町一丁目219番地

☎ 0562-48-1051

【JR東海道線より西側にお住まいの方】

📍 大府市江端町六丁目13番地の1

☎ 0562-45-5455

旬な情報をお届けします

情報案内板 01



ふくしの授業の様子

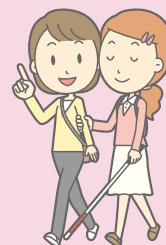
参加費
無料

“見えないってどんなこと？”

～見えない人への声かけ・サポート講座～

“見えないってどんなこと？”を疑似体験したり、見えない生活についてお話を聞き、視覚障がいの理解を深め、声かけやサポートの方法を楽しく学ぶ講座です。

受講後は、市内の学校で実施しているふくしの授業（福祉実践教室）で、講師のサポートや、こどもたちの体験の見守りにも参加してみませんか？ ※希望者のみ



目が見えない人の
サポートを学びたい！

そんな
みなさん！

★専門的な知識がない方でも大丈夫！

★こどもと一緒に学びたい保護者の方も大歓迎！

お買い物体験や茶話会などを通して楽しく学びましょう♪
明るくやさしいボランティアグループのみなさんとお待ちしています。

地域の学校で
活動したい！

こどもと
関わるのが好き！

	日 時	内 容
第1回	3月19日(木) 午前10時～正午	●お話「目が見えないってどんなこと？」 ●アイマスク体験、ガイドヘルプ体験
第2回	3月26日(木) 午前10時～正午	●お買い物体験をしよう！ ●茶話会 ●ボランティア活動・福祉実践教室の紹介

会 場	社協会館
講 師	吉田 裕美子 さん
協 力	点訳グループ 秋桜
定 員	10名(先着順)
申し込み	3月12日(木) までに 社会福祉協議会まで



申し込みはこちら

共和西こども幸齢者交流センター ファミリークラブ「きらきらぼし」

◎親子のサークル ※開講する曜日・時間は都合により変更になる場合があります

クラブ名	対 象	活 動 日 程
ベビータッチングみるく	0歳～1歳児親子	月2回/月曜 10:30～11:30
親子 de アート	1歳半～就学前親子	月1回/月曜 10:00～11:30
はじめてのリトミック	就園前親子	月3回/火曜(2部制) 10:00～11:50
親子運動遊びスターキッズ☆	年少・年中・年長親子	月3回/木曜 16:00～17:00
キッズ英語Happy	1歳～3歳児親子	月3回/木曜 13:00～13:45
親子バランスボール	2ヶ月～就学前親子	月1回/月曜 10:45～11:45

◎趣味のサークル ※お子様同伴で参加できます

クラブ名	内 容	活 動 日 程
ママヨガ	ヨガ	月2～3回/金曜 10:00～11:00
ママズ	イベント企画運営	不定期

令和8年度
会員募集期間

1/13(火)～2/15(日)

新規入会／無料体験
申し込みフォーム



お気軽にお問い合わせください

各種お問い合わせ、申し込み
はセンター事務所または、きら
きらぼし公式LINEより問い
合わせください。

お問い合わせ先 共和西こども幸齢者交流センター 大府市共和町七丁目547番地 ☎ 0562-48-1200

旬な情報をお届けします 情報案内板 02



参加費
無料

みんなの成年後見教室(市受託事業)

大府市では、認知症や知的・精神障がいなどにより判断能力が不十分な方々が地域で安心してその人らしい生活を送れるように、さまざまな支援に取り組んでいます。成年後見制度、社会保障制度、福祉サービスなどについて理解を深め、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。また、大府市成年後見センターの活動や成年後見制度を利用している方をサポートしていただく「サポーター」の養成も進めています。関心がある方は、ぜひご参加ください！

日 時	内 容
第1回 1月22日(木) 午前10時～正午	テーマ 「成年後見制度の基本と大府市の取組」 講 師 大府市成年後見センター
第2回 1月29日(木) 午前10時～正午	テーマ 「高齢者・障がい者の理解」 講 師 大府市高齢者相談支援センター、大府市障がい者相談支援センター
第3回 2月5日(木)※ 午前10時～正午	テーマ 「後見人の活動について」 講 師 新城市社会福祉協議会 相談支援課 課長 秋野 美紀子さん
第4回 2月12日(木) 午前10時～正午	テーマ 「家計管理の基本 ～いざというときに備える家計管理術～」 講 師 株式会社フィリオ 取締役 高濱 和暉さん
第5回 2月19日(木) 午前10時～正午	テーマ 「法律と権利擁護」 講 師 矢野 和雄さん(矢野法律事務所)
第6回 2月26日(木) 午前10時～正午	テーマ 「生活を支える支援(生活保護、日常生活自立支援事業)について」 講 師 大府市地域福祉課、大府市成年後見センター、大府市社会福祉協議会

主 催 大府市
会 場 愛三文化会館 2階会議室C(大府市明成町一丁目330番地)
※2月5日(木)のみ大府市役所
地下会議室002～003(大府市中央町五丁目70番地)
対 象 どなたでも
定 員 20名(先着順) 申し込み 1月16日(金)までに社会福祉協議会まで

参加費
無料

災害ボランティアセンターを体験してみませんか？



昨年度の訓練の様子

市内で災害が発生した際に、災害ボランティアセンターの円滑な運営と効果的な支援活動ができるように、「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施します。

いざという時に備え、ボランティア役として訓練に参加し、災害ボランティアセンターを体験してみませんか？

ご参加をお待ちしてます！

災害ボランティアセンターとは、

災害時にボランティアを受け入れ、被災された方に寄り添ったボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。

令和6年能登半島地震では、17の市町にセンターが設置され、18万人以上(令和7年8月時点)のボランティアを受け入れています。

※全社協 被災地支援・ボランティア情報より



珠洲市
災害ボランティア
センター

日 時 2月28日(土) 午後1時～午後3時30分 ※受付時間：午後0時30分～
受付場所/ふれ愛サポートセンター「スピカ」館内(大府市江端町六丁目13番地の1)
場 所 ふれ愛サポートセンター「スピカ」、藤池公園
対象者 市内在住・在勤・在学の方 定 員 20名
申し込み 2月6日(金)までに社会福祉協議会まで
その他 屋外での訓練となるため、寒さ対策をし、動きやすい服装でお越しください。



申し込みはこちら

『ボランティア保険』のご案内

ボランティア
だより

安心してボランティア活動を行うために、活動中の事故や怪我を補償する『ボランティア活動保険』があります。また、単発のイベントや行事には、主催者と参加者を対象とした「ボランティア行事用保険」もあります。すでにボランティア活動をされている方も、これからボランティア活動をはじめる方も、ぜひご加入ください！

ボランティア活動者対象

ボランティア活動保険

【補償内容】

- ①活動中にケガをした場合の入院・通院費などを補償。
- ②他人の物を壊したり、ケガをさせてしまった場合の賠償責任補償。

詳細はこちら



【保険料・補償金額】 ※傷害事故で、基本プランAの場合

基本プラン	保険料(年間)	入院日額	通院日額
Aプラン	250円	4,400円	2,800円

※プランには、基本プランと天災プランの2種類あり、各プランは3段階の保険料によって、最大の補償金額が異なります。

福祉活動やボランティア活動などを目的とする 団体が主催する行事対象

ボランティア行事用保険

【補償内容】

- ①行事参加者がケガをした場合の入院・通院費などを補償。
- ②行事主催者が、他人の物を壊したり、ケガをさせてしまった場合の賠償責任補償。

詳細はこちら



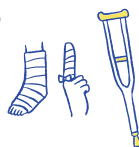
【保険料・補償金額】

補償プラン	保険料(1名あたり)	入院日額	通院日額
日帰行事	30円から	3,300円	2,200円
現地集合行事	30円		
宿泊行事	222円から		

よくある質問

Q 活動中にケガをした場合、手続きはどうすればいいの？

A まずは、大府市社会福祉協議会にご連絡ください。
事故報告書を作成し、保険会社に提出します。



Q 車で活動に向かう途中の交通事故も対象になるの？

A 加入者自身のケガのみ対象になります。対人・対物事故などの賠償責任は対象になりません。※現地集合行事は対象外です。



Q 被災地で活動を行うときは、どのプランに入ればいいのか？

A 活動先で指定された加入プランがない場合、台風などの風水害は「基本プラン」で補償されますが、不測の事態に備えて地震や津波によるケガも補償される「天災プラン」への加入をおすすめします。

加入手続きについて

受付

令和8年4月1日以降の加入は、
令和8年3月1日より受付開始

場所

社会福祉協議会窓口(平日午前8時30分～午後5時15分)

持ち物

保険料(おつりのないようお願いします。)、印鑑(法人のみ)

※詳しい保険の内容は上記二次元コード、もしくは、愛知県社会福祉協議会のウェブサイトまで <http://www.aichi-fukushi.or.jp/vol/>

ボランティアグループ紹介 VOL.80

階(きざはし)



活動の様子

代表 佐々木 信雄

会員数 4名

活動内容

安全、環境、防災を通じて
子どもたちを見守る活動を
推進する。

□グループの紹介をお願いします

「子どもたちを守りたい」という想いから令和元年に設立しました。メンバーが住む石ヶ瀬地区をはじめ、市内で歩行者優先活動、登下校の見守り、防災教室の開催、アダプトプログラムなど「安全・環境・防災」の活動を行い、子どもたちを見守っています。また、活動内容に人と人がつながるきっかけをちりばめ、災害時に地域で助けあうことができるよう、意識して活動しています。

□活動で嬉しかったことはなんですか？

登下校の見守りを続けているうちに、子どもからあいさつをしてくれるようになったり、地域の方が「お疲れさまです」と声をかけてくれるようになったりしたことが嬉しいです。また、講座やイベントに参加してくださった方々が、「参加してよかった」と言っていただけると、活動してよかったと感じます。

□市民へのPRをお願いします

自分たちにできることを無理のない範囲で行っています。これからも、私たちの活動が地域の子どもたちを守るための何かにつながるように頑張ります！ご興味のある方は、あれば、講座やイベントなどの活動にぜひご参加ください。



おんせんたまごさん
(神田町)



はるさん
(米田町)

おおぶ社協のインスタ
にて、ぶくちゃんへのお
祝いコメント待って
ます！

2月9日(ぶく)は、
ぶくちゃんの誕生日！



お問い合わせは、総合ボランティアセンター (☎ 0562-48-1805) まで

TOPICS

おおぶ社協トピックス

たくさんのご寄付をありがとうございました！

令和7年9月1日～11月30日

これらの善意は、社会福祉協議会を通じて、施設にお届けしたり、社会福祉基金に積み立てさせていただきます。(敬称略・順不同)

現金

深谷 友造	100,000円
豊田自動織機労働組合	58,800円
日本ベンダー整備株式会社	30,000円
大府婦人会	12,140円
和紙人形同好会	10,000円
ナゴヤダンスアカデミー	10,000円
ゴールデンドリームおおぶ女性部	5,000円
匿名	200,000円
匿名	100,000円
匿名	30,000円
匿名	2,694円

物品

共和病院	古切手	匿名	ベルマーク
トルクシステム(株)	//	ネットワーク大府	古切手、ベルマーク
大府市鉄工団地協同組合	//	あけび苑	//
伊藤精工(株)	//	匿名	//
愛知金属工業(株)	//	桃陵高等学校PTA	食品420個
有花井業務店	//	日本空調システム(株)常滑営業所	食品68個
深谷 友造	//	明治安田生命 東海南営業所	食品50個
さわやか愛知	//	(株)バローホールディングス	食品30個
デンソーテクノ(株)	//	山本	未使用切手
愛知用水土地改良区大府事務所	//	岡田 斉	古切手、ベルマーク、未使用切手
匿名	//	匿名	古切手、ベルマーク、プリペイドカード
K	ベルマーク	匿名	プリペイドカード
子育て支援サークル あそびのいっば	//	匿名	車いす
コメダ珈琲店 大府名高山店	//	匿名	大人用オムツ
保育園さくらんぼ	//	匿名	玄米60kg

ご寄付をありがとうございました！



深谷友造様より、
100,000円を
ご寄付をいただき
ました。



豊田自動織機
労働組合様より、
58,800円を
ご寄付をいただき
ました。



桃陵高等学校
PTA様より、
食品420個を
ご寄付をいただき
ました。

車いす・福祉車両の貸出をしています！

車いす

貸出期間 最長1年

毎月1回窓口で更新手続きが必要です。

対象者

高齢・障がい・ケガなどにより車いすが必要な方
※こども用もあります

介護認定が要支援1・要支援2・要介護1の方

※要介護2～5の方でも短期間の貸出など、状況によって貸出可能です

料金 無料



お気軽に
お問い合わせ
ください！



福祉車両

車種は、2種類あります。

車いすを利用されている方の外出や通院に
便利な車両です。

利用可能時間

平日の午前8時30分～午後5時15分

料金 走行距離に応じます

- 30km以下300円
- 30kmを超えた場合10kmごとに+100円



あなたの
知識 経験 技術
が活かせる

シルバー人材センターとの協力事業です

- 条件をお聞きし、さまざまな仕事の中から条件にあったお仕事を紹介します！
- 60歳以上のたくさんの方が登録されています。女性の方も活躍されています。

自分のスタイルにあった活躍の場、見つけませんか？

「知識や経験を活かして社会に貢献したい、還元したい」と考えるシニア世代の皆さまのため、仕事やボランティア活動、地域活動などを紹介する「就労的活動支援事業」を行っています。地域においてご自身の力を発揮する場をお探しの60歳以上の方は、社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせください。担当者と面談し、ご希望を確認したうえで、協力事業者(シルバー人材センター)などにおつなぎします。



家事援助サービス



家庭や公共施設での
緑化管理



ショッピングセンター
での商品出し



事業所などの清掃
簡単な大工仕事など

協力事業者



公益社団法人

大府市シルバー人材センター

大府市江端町四丁目1番地(石ヶ瀬会館内)

お問い合わせ先

大府市社会福祉協議会 地域支援係

☎ 0562-48-1805 ✉ obu-fuku@ma.medias.ne.jp

大府市高齢者相談支援センター主催セミナー

幸齢者が笑って すごせるまちあおぶ

入場
無料

とき 2月1日(日) 午前10時～正午(開場 午前9時30分)

申込
必要

ところ

石ヶ瀬会館ホール

住所:大府市江端町四丁目1番地

定員100名
(先着順)

急速に少子高齢化が進む社会において、去年は団塊世代が後期高齢者となる2025年を迎えました。今後の高齢者を取り巻く社会状況においては、認知症高齢者や単身高齢者世帯などが増加することが予測されており、医療・介護のサービスの提供量が増加すると想定されますが、高齢者を支える施設・人員などは不足するといわれています。このような社会的な背景を踏まえ、今後の高齢社会への理解を深めるとともに、大府市における高齢者の生活や支援などについて考えるセミナーを開催します。お気軽にご参加ください！

プログラム

基調講演

『今後の高齢社会の動向と地域づくりについて』

講師:原田 正樹さん(日本福祉大学学長)

シンポジウム

『大府市の幸齢者が“笑って”暮らせるように支えあおう!』

【コーディネーター】 原田 正樹さん

【シンポジスト】 寺田 順二さん(大府ファミリークリニック院長)

武田 章敬さん(国立長寿医療研究センターもの忘れセンター長)

内田 恵美さん(訪問看護ステーションアイリス半田管理者)

講師プロフィール



原田 正樹 日本福祉大学学長・副理事長(社会福祉士/社会福祉学博士)

長野県出身。明治学院大学卒業後、重度身体障害者療護施設・特別養護老人ホームなどに勤務の後、日本社会事業大学大学院に進学。その後、日本社会事業大学などを経て、日本福祉大学に赴任、現在に至る。地域福祉論、福祉教育論を専攻。日本学術会議連携会員、日本地域福祉学会会長などを歴任。厚生労働省「地域共生社会の在り方検討会議」、内閣府「孤独・孤立対策推進有識者会議」ほか、全国社会福祉協議会、中央共同募金会、日本更生保護協会などの役員などを務める。また、第2次大府市地域福祉計画の策定にも寄与している。

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

大府市高齢者相談支援センター

大府市東新町一丁目219番地

0562-48-1051

0562-46-9560

obu-fuku@ma.medias.ne.jp

申込フォームは
こちらから→

